

### 3. 中心市街地の活性化の目標

#### [1] 中心市街地の活性化の目標

基本方針を受け、次のとおり3つの目標を定める。

##### (1) 目標1 観光・交流拠点の活用や商業機能の再生による「にぎわいの創出」

中心市街地には、平成24年4月にオープンした奥の細道むすびの地記念館をはじめ、大垣城や郷土館、守屋多々志美術館等の文化観光施設がある。

また、平成26年3月に「おくのほそ道の風景地 大垣船町川湊」が国名勝に指定されたことや、平成27年3月には大垣まつりが「大垣祭の軸行事」として国の重要無形民俗文化財に指定され、翌平成28年12月には「山・鉾・屋台行事」のひとつとしてユネスコ無形文化遺産に登録された。令和6年の大垣まつりにおいては、来場者が16万人を突破するなど、今後とも、これらの魅力ある観光資源による観光客の増加、にぎわい創出と活性化が期待される。

さらに、水都を感じられる事業として、市民団体等が主催する水都を感じられる活動を支援するとともに、水門川舟下り事業や水都まつり事業の継続実施により、水都大垣の魅力を発信するほか、市街地を流れる水門川沿いにつくられている遊歩道「四季の路」の再整備や公園等の整備を計画的に行うことにより回遊性を高める。

にぎわいは、観光・交流拠点の活用や商業機能の再生により、中心市街地に様々な目的を持って集まる来街者が歩いて楽しめる魅力づくりにより創出されるものでもある。そのためには、集客拠点施設として「奥の細道むすびの地記念館」の活用や、大垣公園等の再整備、中心市街地の「湧水」や「文化施設」、「景観遺産」などを案内する「まちなかサイン」の整備、大垣駅南前地区市街地再開発事業による新たな拠点施設の創造、その他情報発信や交通利便性の向上を図るとともに、空き店舗に出店する事業者へのサポート、既存商店街への来街者の確保及び駅南北の商業地が連携・一体化した商業集積地を形成することにより、中心市街地内の回遊性の向上を図り、にぎわい創出を目指す。

#### [主要事業]

- ・大垣駅南前地区市街地再開発事業
- ・まちなか案内サイン整備事業
- ・デジタル版プレミアム付商品券発行事業
- ・中心市街地リフレッシュサポート事業
- ・中心市街地個店魅力アップ事業
- ・中心市街地リノベーション推進事業

- ・まちなかスクエアガーデン事業
- ・商店街魅力向上事業
- ・城下町大垣きもの園遊会事業
- ・芭蕉祭事業
- ・水都を感じられる活動の支援事業
- ・四季の路の再生事業
- ・四季の広場公園整備事業
- ・四季の路サクラ再生整備事業
- ・水の都おおがきたらい舟
- ・水の都おおがき舟下り
- ・水の都おおがきたらい舟川遊び
- ・水都まつり
- ・大垣公園等再整備事業
- ・北公園再整備事業

## (2) 目標2 都市基盤の推進による「まちなか居住の推進」

中心市街地内での人々の交流を促進させるためには、都市基盤の整備推進により中心市街地での生活者を増やす必要がある。

そのため、市街地再開発事業の促進や子育て世代を中心とする世帯の定住を促進し、かつ市街地の活力の促進を図るソフト事業を継続実施し、居住人口の増加を目指す。

〔主要事業〕

- ・大垣駅南前地区市街地再開発事業〔再掲〕
- ・大垣住まいるサポート事業
- ・子育て世代等中古住宅取得リフォーム支援事業
- ・空家バンク事業
- ・キッズピアおおがき交流サロン事業

## (3) 目標3 中心市街地の商業再生による「空き店舗の解消」

中心市街地内での空き店舗数を減少させるためには、新規出店者に対する初期投資などの負担を軽減し、出店しやすい環境整備をすることが重要である。

そのため、商店街の空き店舗を賃貸してリフレッシュし開店する出店者に、店舗改装費と店舗賃借料の一部を補助することで、新規出店に対するハードルを下げ、空き店舗への入居を促し、もって空き店舗の解消を目指す。

また、5年以上営業している出店者に対し、内装改装のための費用の一部を補助することで、既存店舗の閉店を防ぎ魅力ある店舗として継続して営業できるようにするとともに、空き店舗の所有者に対し、店舗のリノベーションに係る費用の一部を補助する制度の創設、空き店舗の見学ツアーの実施、空き店舗における家主と借主におけるマッチングを促進し、空き店舗への出店を促す。

〔主要事業〕

- ・ 中心市街地リフレッシュサポート事業 [再掲]
- ・ 中心市街地個店魅力アップ事業 [再掲]
- ・ 商店街魅力向上事業 [再掲]
- ・ 中心市街地リノベーション推進事業 [再掲]
- ・ デジタル版プレミアム付商品券発行事業 [再掲]

〔2〕 計画期間の考え方

本計画の計画期間は、前期計画が令和8年3月で完了するため、令和8年4月から令和13年3月までの5年とする。

〔3〕 目標指標の設定の考え方

活性化の目標に関するそれぞれの数値目標は、次に示す指標で設定する。

No.	活性化の目標	数値目標の指標	測定方法
1	にぎわいの創出	中心市街地の休日歩行者・自転車通行量	毎年度3月第2土曜日（午前10時～午後5時30分）に中心市街地区域内の10地点において測定する
2	まちなか居住の推進	中心市街地の社会増減数（平均）	毎年度3月末現在の中心市街地区域内の社会増減を住民基本台帳により測定する
3	空き店舗の解消	商店街振興組合連合会内空き店舗数	毎年度6月末に商店街の空き店舗等の実態調査により測定する

(1) 中心市街地の休日歩行者・自転車通行量の目標値の設定

① 中心市街地の休日歩行者・自転車通行量の推移

中心市街地の休日歩行者・自転車通行量の推移は、次のとおりである。

【中心市街地の休日歩行者・自転車通行量の推移】

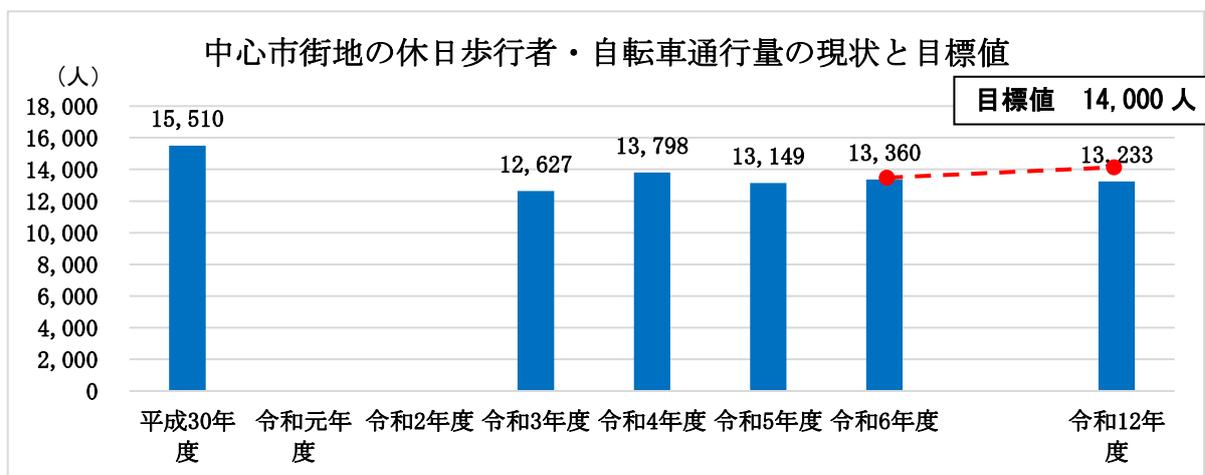
(単位：人)

	平成30年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①南街区広場	1,812	987	1,142	1,130	853
②駅前にしき前	2,184	2,130	2,597	2,064	1,723
③旧ヤナゲン大垣本店前	1,965	1,418	1,510	1,724	1,754
④ムトウさかや前	1,590	1,300	1,449	1,458	1,476
⑤旧吉田ハム前	1,332	1,165	956	950	858
⑥三菱UFJ銀行前	1,374	1,177	1,246	1,175	1,130
⑦稲川耳鼻咽喉科前	891	586	860	814	1,091
⑧大垣公園南	1,344	1,399	1,598	1,306	2,336
⑨大垣市役所東	1,944	1,052	1,503	1,498	1,070
⑩住吉橋前	1,074	1,413	937	1,030	1,069
合計	15,510	12,627	13,798	13,149	13,360

※令和元～2年度は新型コロナウイルス感染症により未計測 (資料：大垣市)

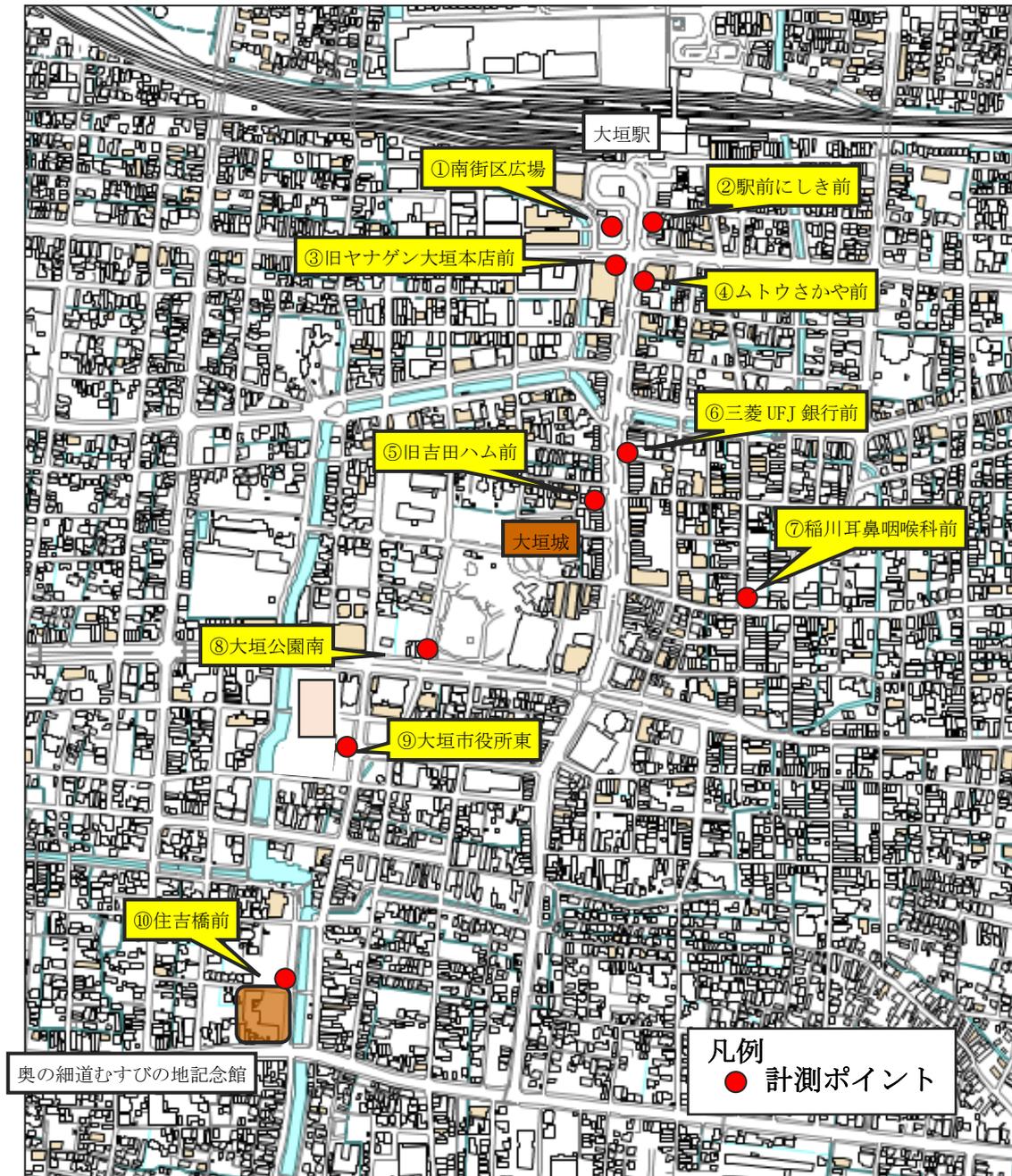
※調査時期：毎年度3月の第2土曜日 午前10時～午後5時30分

※調査方法：中心市街地10地点の通行量を測定 (悪天候の場合等は別日に調査)



令和3年度から令和6年度の中心市街地の休日歩行者・自転車通行量の平均は、13,233人/日であり、この数値を推計値として、目標値を定める。

【中心市街地の休日歩行者・自転車通行量の計測ポイント】



② 中心市街地の休日歩行者・自転車通行量の目標数値

現状値 (令和6年度)	目標値 (令和12年度)
13,360人/日	14,000人/日

### ③ 直接的に効果が見込まれる事業（増加分の設定）

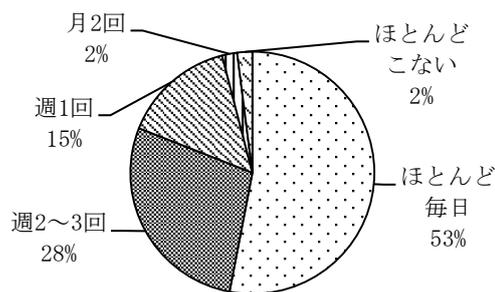
1) 居住施設整備（大垣駅南前地区）による増加 130人/日

大垣駅南前地区市街地再開発事業により、新たな分譲マンションを整備する。新たな居住人口が創出されることで、回遊人口の増加が見込まれる。

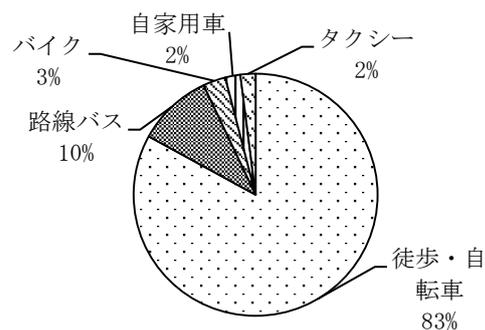
- ・新規住宅戸数 約120戸
- ・中心市街地1世帯あたりの人口（R06）  $7,926(\text{人}) \div 3,833(\text{世帯}) = 2.07(\text{人})$
- ・増加居住者数 248人
- ・各戸少なくとも1人の休日歩行者の創出を見込む：120人/日

中心市街地居住者の中心市街地内の商店街への来店頻度と来店手段は、中心市街地活性化診断・助言調べのアンケート結果より、次のとおりである。

中心市街地居住者の来店頻度



中心市街地居住者の来店手段



中心市街地居住者の中心市街地内の商店街への来店頻度の平均は、  
 $\text{週7回} \times 53(\%) + \text{週2.5回} \times 28(\%) + \text{週1回} \times 15(\%) = \text{週4.56回}$

1世帯1人が、中心市街地の商店街を往復する人数は、  
 $120(\text{人}) \times \text{週4.56回} \times 1/7 \text{ (1日あたり)} \times 2 \text{ (行きと帰り)} = 156(\text{人})$

※分譲マンションと商店街の間にある調査箇所③④⑤⑥の最低1箇所を往復。

そのうち、徒歩・自転車での来店比率は、83%であることから  
 $156(\text{人}) \times 0.83 = \text{130(人)}$

2) 大垣公園等再整備事業などによる増加 166人／日

・令和12年度計測分から一部効果発現予定

市民に古くから利用され愛着のある大垣公園が、大垣城ホールと共に再整備されることなどにより、歩行者・自転車通行量の増加が見込まれる。

日曜日の歩行者通行量の令和3年度から令和6年度の平均が1,660人。大垣公園等再整備事業により、1割程度利用者数が増加することを見込む

$$1,660人 \times 0.1 = \text{166人}$$

3) 商業施設整備（大垣駅南前地区）による増加 211人／日

大垣駅南前地区市街地再開発事業により、新たな商業施設を整備する。

同開発区域では、大型商業施設（ヤナゲン大垣本店）が令和元年8月31日に閉店している。

ヤナゲンが閉店する前の、平成30年度のヤナゲン前の通行量まで、回復することを見込む。

$$1,965人（平成30年度実績） - 1,754人（令和6年度実績） = \text{211人増}$$

場所	平成31年3月	令和7年3月	差引
旧ヤナゲン前	1,965	1,754	△211

4) まちなかスクエアガーデン事業による増加 160人／日

まちなかスクエアガーデンを開催することにより、商店街、大垣公園、丸の内公園等の中心市街地エリア内の回遊性を向上させることで、1日あたり、160人の増加を見込む。

5) 水都大垣の魅力をPRすることによる増加 100人／日

水の都おおがきたらい舟、水の都おおがき舟下り、水都を感じられる活動の支援事業等を開催することにより、水都おおがきの魅力を広く発信することで、1日あたり、100人の増加を見込む。

④ 間接的に効果が見込まれる事業

1) デジタル版プレミアム付商品券発行事業

商店街でお得に使用できるデジタル版商品券を発行することにより、商店街での消費拡大を支援し、商店街に買い物客が訪れることで、休日歩行者・自転車通行量の増加に寄与する。

## 2) 商店街魅力向上事業

空き店舗撲滅のため、空き店舗所有者には適正な家賃相場などの助言や出店希望者の紹介、そして、出店希望者には空き店舗見学ツアーや空き店舗情報の発信などを行う不動産取引経験者の配置等を支援する。また、商店街の情報発信をするとともに、中心市街地内での買い物客の利便性向上と駐車場利用促進を図るため、中心市街地商店街での買い物客に駐車券を発行し、利用しやすい商店街の環境を整備する。

## 3) 城下町大垣イルミネーション事業

大垣駅通りを中心に、イルミネーションの設置を行うことにより、中心市街地全体のにぎわい創出と誘客の促進を図る。

## 4) 四季の路の再生事業

水門川沿いの遊歩道を再整備することにより、中心市街地全体の回遊性を高め、中心市街地の活性化を図る。

### ⑤ 中心市街地の休日歩行者・自転車通行量の目標数値の積算

過去の傾向を踏まえた令和12年の休日歩行者・自転車通行量（推計）	13,233人
事業の効果による歩行者・自転車通行量の増加	767人
1) 居住環境整備（大垣駅南前地区）による増加	130人
2) 大垣公園等再整備事業などによる増加	166人
3) 商業施設整備（大垣駅南前地区）による増加	211人
4) まちなかスクエアガーデン事業による増加	160人
5) 水都大垣の魅力をPRすることによる増加	100人
合計（中心市街地の休日歩行者・自転車通行量の目標数値）	14,000人

### ⑥ フォローアップの考え方

毎年度、基本計画に位置づけた事業の進捗状況の調査を行い、中心市街地通行量調査により毎年度末に数値目標について検証を行う。この結果を踏まえ、必要に応じて目標達成に関する事業の促進等の改善措置を講ずる。

## (2) 中心市街地の社会増減数の目標値の設定

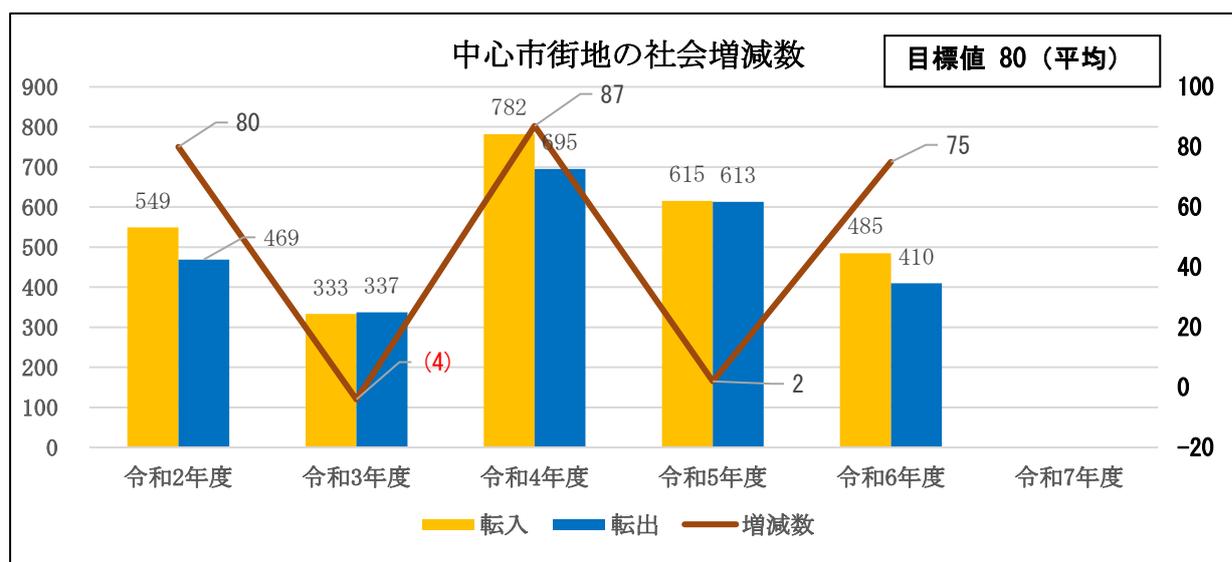
### ① 中心市街地の社会増減数の推移

中心市街地の社会増減数の推移は、次のとおりである。

(単位：人)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	平均
転入	549	333	782	615	485	553
転出	469	337	695	613	410	505
社会増減数	80	△4	87	2	75	48

(資料：大垣市)



令和2年度から令和6年度の中心市街地の社会増減数の平均は、48人であり、この数値を推計値として、目標値を定める。

## ② 中心市街地の社会増減数の目標数値

現状値 (令和2年度～6年度平均)	目標値 (令和8～12年度平均)
+48人	+80人

## ③ 直接的に効果が見込まれる事業 (増加分の設定)

### 1) 大垣駅南前地区市街地再開発事業による増加 20人/年

大垣駅南口から約200mに位置する百貨店の空きビルや共同ビル、青空駐車場等の低未利用区域の再開発を行うことにより、中心市街地の社会増減数の20人増加が見込まれる。

・令和12年度に、再開発事業によるマンションが建設され、120戸に入戸があるものとして積算。

増加居住者数 20人

※1戸あたり2.07人×120戸=248人が増加

5年間の平均のため、248人÷5ヶ年=50人

このうち市外からの転入者を全体の5分の2と見込む。

$$50(\text{人}) \times 2/5 = \boxed{20(\text{人})}$$

2) 大垣住まいるサポート事業による増加  $\boxed{7\text{人}/\text{年}}$

子育て世帯及び若年世帯の新築住宅取得者を対象に定住促進支援事業補助金を交付することにより、大垣市への移住、Uターン者の増加につなげることで7人増加が見込まれる。

・令和2年度～令和6年度の中心市街地区域の補助金利用実績

制度名	R2	R3	R4	R5	R6	平均
子育て世代近居支援事業補助金	9	25	4	19	8	13
子育て世代等住宅取得支援利子補給金	25	33	9	26	16	22
合 計	34	58	13	45	24	35

移住・定住ポータルサイト等で制度の積極的なPRを行うことにより、利用者が1.2倍になると見込まれる。そこから令和2年度～令和6年度の利用者の実績（平均）を差し引きすることで、増加分を算定する。

$$35(\text{人}) \times 1.2 - 35(\text{人}) = \boxed{7(\text{人})}$$

3) 三大まつりを活用した都市プロモーションによる増加  $\boxed{5\text{人}/\text{年}}$

「水都大垣」の魅力を多くの人に知ってもらうため、大垣まつり、水都まつり、十万石まつりの三大まつりを開催し、まちへの誇りや愛着を育み、シビックプライドを醸成し、定住意向の向上につなげる。同時に、都市プロモーションとして三大まつりを活用して、住民が「このまちで暮らし続けたい」と思える環境であることを、市のPR動画、紹介パンフレット、移住・定住ポータルサイト及び市外での魅力発信イベント等で地域内外へ広く発信し、大垣市への移住、Uターン者の増加につなげることで5人増加が見込まれる。

④ 間接的に効果が見込まれる事業

1) キッズピアおおがき交流サロン事業

子育て中の親子が気軽に出かけ交流できる場を提供することにより、子育て支援の充実を図ることで、中心市街地の居住人口の増加に寄与する。

2) 子育て世代等中古住宅取得リフォーム支援事業

新たに中古住宅等を取得した子育て世代のリフォーム費用を補助することによ

り、まちなかでの住宅取得を促進することで、中心市街地の居住人口の増加に寄与する。

### ⑤ 中心市街地の社会増減数の目標数値の積算

過去の傾向を踏まえた令和8～12年度の中心市街地の社会増減数（推計）	48人
事業の効果による中心市街地の社会増減数の増加	32人
1) 大垣駅南前地区市街地再開発事業	20人
2) 大垣住まいるサポート事業	7人
3) 三大まつりを活用した都市プロモーション	5人
合計（中心市街地の社会増減数（令和8～12年度平均）の目標数値）	80人

### ⑥ フォローアップの考え方

毎年度基本計画に位置づけた事業の進捗状況の調査（アンケートの実施等）を行い、3月31日現在の住民基本台帳により令和8年度からの平均を算出し、数値目標について検討を行う。この結果を踏まえ、必要に応じて目標達成に関する事業の促進等の改善措置を講ずる。

## (3) 商店街振興組合連合会内空き店舗数の目標値の設定

### ① 商店街振興組合連合会内空き店舗数の推移

商店街振興組合連合会内（3組合）空き店舗数の推移は、次のとおりである。

（単位：店舗）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	平均
空き店舗数	18	15	13	14	12	14

（資料：大垣市）

中心市街地リフレッシュサポート事業の補助金実績件数は、次のとおりである。

（単位：店舗）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	平均
開店店舗数	7	1	4	4	2	3.6
継続店舗	6	1	4	4	2	3.4

（資料：大垣市）

商店街振興組合連合会内空き店舗数、商店街振興組合連合会組合員数及び空き店舗率の実績の推移は、次のとおりである。

(単位：店舗)

年 度	商店街振興組合連合会 内空き店舗数	商店街振興組合連合会 組合員数	空き店舗率
令和2年度	18	122	12.9%
令和3年度	15	119	11.2%
令和4年度	13	114	10.2%
令和5年度	14	107	11.6%
令和6年度	12	108	10.0%

(資料：大垣市)

商店街振興組合連合会内の空き店舗対策事業実績の推移は、次のとおりである

(単位：店舗)

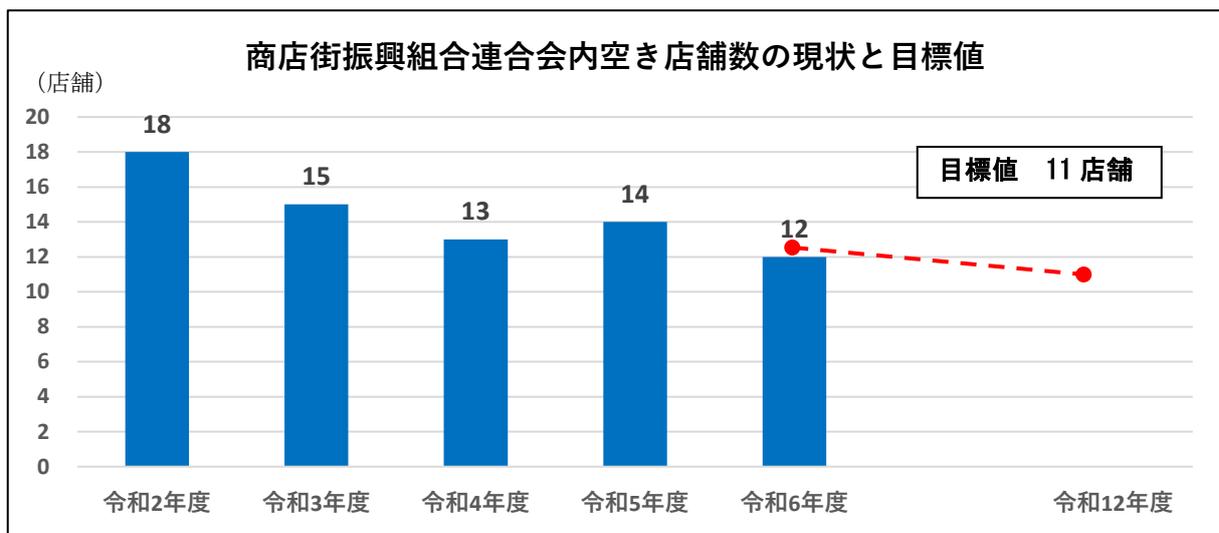
年 度	開店された店舗数		閉店された 店舗	差引
	うち、リフレッシュサ ポート事業に よる出店	うち、空き店舗 撲滅プロジェク トによる出店		
令和2年度	4	3	1	3
令和3年度	4	1	2	2
令和4年度	2	0	3	△1
令和5年度	4	4	2	2
令和6年度	1	1	2	△1
合 計	15	9	10	5

※カッコ内の数字はリフレッシュサポート事業併用店舗。(資料：大垣市)

平成8年度から実施しているリフレッシュサポート事業においては、年平均3.4店舗(継続店舗)の減少に成功している。

商店街振興組合連合会内の令和2年度の空き店舗数は18店舗で、令和6年度は12店舗であることから、毎年1店舗強のペースで空き店舗が減少している(6店舗減少)。

過去5年間に閉店した店舗は、10店舗である(うち1店舗はリフレッシュサポート)



② 商店街振興組合連合会内空き店舗数の目標数値

現状値 (令和6年度)	目標値 (令和12年度)
12店舗	11店舗

③ 直接的に効果が見込まれる事業 (増減分の算定)

- 1) 中心市街地リフレッシュサポート事業等による出店 10店舗  
 中心市街地リフレッシュサポート事業により、新たな出店者が見込まれる。
  - ・過去の実績
  - ・事業の拡充やPR効果
  
- 2) 商店街魅力向上事業 (空き店舗撲滅プロジェクト) による出店 1店舗  
 空き店舗調査による借り手と貸し手のマッチングを行うことにより、中心市街地の空き店舗新規出店が1店舗見込まれる。

- 3) 過去の実績による閉店 **10店舗**  
 過去実績により閉店が予想される。  
 ・後継者不足などの要因加速

**④ 間接的に効果が見込まれる事業**

1) 中心市街地個店魅力アップ事業

中心市街地で営業する店舗の改装費を補助することにより、外観等が整備され、商店街の店舗の魅力が向上することで、中心市街地の空き店舗の減少に寄与する。

2) 中心市街地リノベーション推進事業

遊休物件のリノベーション事業に対し補助し、空き店舗への出店を促す。

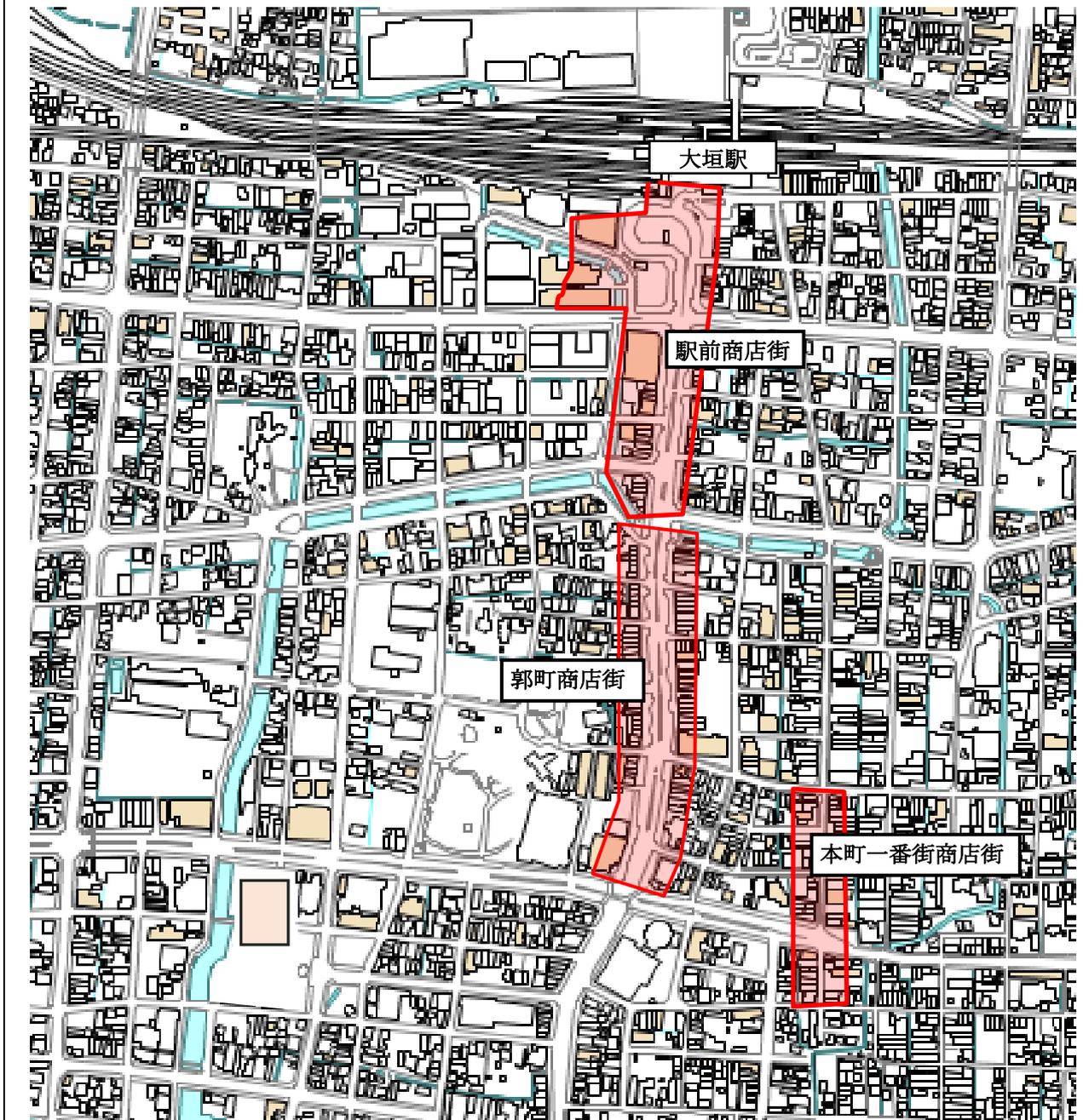
**⑤ 商店街振興組合連合会内空き店舗数の目標数値の積算**

令和6年度の商店街振興組合連合会内空き店舗数	12店舗
事業の効果による空き店舗への出店数	11店舗
1) リフレッシュサポートによる出店	10店舗
2) 商店街魅力向上事業による出店	1店舗
過去の実績による空き店舗数の増加	10店舗
◆経営者の高齢化など、様々な要因で閉店する店舗数	10店舗
合計（商店街振興組合連合会内空き店舗数の目標数値）	11店舗

**⑥ フォローアップの考え方**

毎年度、基本計画に位置づけた事業の進捗状況の調査を行い、毎年度6月末に実施する空き店舗調査により、数値目標について検討を行う。この結果を踏まえ、必要に応じて目標達成に関する事業の促進等の改善措置を講ずる。

【大垣市商店街振興組合連合会位置図】



◇ 4から8までに掲げる事業一覧

・全65事業（うち、再掲5事業）

※「目標（目標指標）」における凡例 ◎：直接目標（目標指標）への効果が見込まれる  
 /○：間接的に目標（目標指標）への効果が見込まれる

事業 番号	再掲 事業 番号	事業 区分 (新規/ 継続)	事業名	実施主体	支援 措置 区分	支援措置	支援主体	目標（目標指標）		
								目標1 (目標 指標 ①)	目標2 (目標 指標 ②)	目標3 (目標 指標 ③)
4-1		継続	まちなかテラス推進事業	大垣市	(2)①	中心市街地 活性化ソフト事業	総務省	○	—	○
4-2		継続	大垣公園等再整備事業	大垣市	(3)	遺跡発掘調査事業	文部科学省	◎	○	—
4-3	4-2 4-4	継続	大垣公園等再整備事業（再掲）	大垣市	(3)	都市構造再編集中支援事業	国土交通省	◎	○	—
4-4	4-2 4-3	継続	大垣公園等再整備事業（再掲）	大垣市	(3)	防災・安全 交付金事業 （都市公園・緑地等 事業）	国土交通省	◎	○	—
4-5		継続	北公園再整備事業	大垣市	(3)	社会資本整備総合交付金事業（都市公園・緑地等事業）	国土交通省	○	○	—
4-6		継続	四季の路の再生事業	大垣市	(3)	都市構造再編集中支援事業	国土交通省	○	—	—
4-7		新規	船町公園整備事業	大垣市	(3)	都市構造再編集中支援事業	国土交通省	○	○	—

4-8		新規	四季の広場公園整備事業	大垣市	(3)	都市構造再編集中支援事業	国土交通省	○	○	—
4-9		継続	大垣駅南前地区市街地再開発事業	大垣駅南前地区市街地再開発準備組合	(3)	社会資本整備総合交付金(市街地再開発事業等)	国土交通省	◎	◎	—
4-10		継続	大垣駅南口公衆トイレ整備事業	大垣市	(3)	都市構造再編集中支援事業	国土交通省	○	—	—
4-11		新規	まちなか道路再生事業	大垣市	(3)	都市構造再編集中支援事業	国土交通省	○	○	—
4-12		継続	景観形成建築物等修景モデル支援事業	大垣市	(4)		-	○	—	—
4-13		継続	四季の路サクラ再生整備事業	大垣市	(4)		-	○	—	—
4-14		新規	丸の内駐車場再整備事業	大垣市	(4)		-	○	—	—
4-15		新規	まちなか案内サイン整備事業	大垣市	(4)		-	○	—	—
5-1		継続	キッズピアおおがき交流サロン事業	大垣市 NPO 法人 くすくす	(3)	重層的支援体制整備事業 交付金 (地域子育て支援拠点事業)	こども家庭庁	—	○	—
5-2		継続	ふれあい・いきいきサロン事業	社会福祉協議会	(4)		-	—	○	—

5-3		継続	高齢者を囲む 会	社会福祉 協議会	(4)		-	-	○	-
5-4		継続	地域防災力向 上推進事業	社会福祉 協議会	(4)		-	-	○	-
5-5		新規	新分駐所建設 事業	大垣消防 組合	(4)		-	-	○	-
6-1	4-9 7-25	継続	大垣駅南前地 区市街地再開 発事業（再掲）	大垣駅南 前地区市 街地再開 発準備組 合	(3)	社会資本整 備総合交付 金（市街地 再開発事業 等）	国土交通省	◎	◎	-
6-2		継続	子育て世代等 中古住宅取得 リフォーム支 援事業	大垣市	(3)	空き家対策 総合支援事 業	国土交通省	-	○	-
6-3		継続	大垣住まいる サポート事業	大垣市	(4)		-	-	◎	-
6-4		継続	空家バンク事 業	大垣市	(4)		-	-	○	○
7-1		継続	中心市街地リ フレッシュサ ポート事業	大垣市	(2)①	中心市街地 活性化ソフ ト事業	総務省	-	-	◎
7-2		継続	商店街魅力向 上事業	大垣市商 店街振興 組合連合 会	(2)①	中心市街地 活性化ソフ ト事業	総務省	-	-	◎
7-3		継続	まちなかスク エアガーデン 事業	大垣市商 店街振興 組合連合 会	(2)①	中心市街地 活性化ソフ ト事業	総務省	◎	-	-

7-4		継続	城下町大垣イルミネーション事業	城下町大垣イルミネーション実行委員会	(2)①	中心市街地活性化ソフト事業	総務省	○	—	—
7-5		継続	水の都おおがきたらい舟	大垣観光協会	(2)①	中心市街地活性化ソフト事業	総務省	◎	—	—
7-6		継続	水の都おおがき舟下り	大垣観光協会	(2)①	中心市街地活性化ソフト事業	総務省	◎	—	—
7-7		継続	芭蕉蛤塚忌全国俳句大会	大垣全国俳句大会実行委員会	(2)①	中心市街地活性化ソフト事業	総務省	○	—	—
7-8		継続	おおがきマラソン事業	おおがきマラソン実行委員会	(2)①	中心市街地活性化ソフト事業	総務省	○	—	—
7-9		継続	かがやきライフタウン大垣推進事業	大垣市	(2)①	中心市街地活性化ソフト事業	総務省	○	—	—
7-10		新規	三大まつりを活用した都市プロモーション	大垣市 大垣まつり実行委員会 水都まつり実行委員会 十万石まつり実行委員会	(2)①	中心市街地活性化ソフト事業	総務省	○	◎	—

7-11		継続	西美濃観光案内所事業	大垣観光協会	(2)①	中心市街地 活性化ソフト事業	総務省	○	—	—
7-12		継続	ラジオ情報発信事業	大垣観光協会	(2)①	中心市街地 活性化ソフト事業	総務省	○	—	—
7-13		継続	城下町大垣きもの園遊会事業	大垣観光協会	(2)①	中心市街地 活性化ソフト事業	総務省	○	—	—
7-14		継続	オオガキストリートフェスティバル事業	大垣市商店街振興組合連合会	(2)①	中心市街地 活性化ソフト事業	総務省	○	—	—
7-15	4-1	継続	まちなかテラス推進事業(再掲)	大垣市	(2)①	中心市街地 活性化ソフト事業	総務省	○	—	○
7-16		継続	デジタル版プレミアム付商品券発行事業	大垣市商店街振興組合連合会	(2)①	中心市街地 活性化ソフト事業	総務省	○	○	○
7-17		継続	水の都おおがきたらい舟川遊び	大垣観光協会	(2)①	中心市街地 活性化ソフト事業	総務省	○	—	—
7-18		継続	子どもの職業・社会学習体験機会創出事業	市民団体	(2)①	中心市街地 活性化ソフト事業	総務省	○	—	—
7-19		新規	水都を感じられる活動の支援事業	大垣市	(2)①	中心市街地 活性化ソフト事業	総務省	◎	—	—
7-20		継続	観光客誘客促進事業	大垣観光協会	(2)①	中心市街地 活性化ソフト事業	総務省	○	—	—

7-21		継続	西美濃観光地域づくり推進事業	西美濃観光ネットワーク	(2)①	中心市街地活性化ソフト事業	総務省	○	—	—
7-22		継続	観光情報発信事業	大垣観光協会	(2)①	中心市街地活性化ソフト事業	総務省	○	—	—
7-23		継続	芭蕉祭事業	大垣観光協会	(2)①	中心市街地活性化ソフト事業	総務省	○	—	—
7-24		継続	奥の細道むすびの地記念館展示事業	大垣市	(2)①	中心市街地活性化ソフト事業	総務省	○	—	—
7-25	4-9 6-1	継続	大垣駅南前地区市街地再開発事業（再掲）	大垣駅南前地区市街地再開発準備組合	(3)	社会資本整備総合交付金（市街地再開発事業等）	国土交通省	◎	◎	—
7-26		継続	ハツラツ店舗支援事業	大垣商工会議所	(4)		-	—	—	○
7-27		継続	中心市街地個店魅力アップ事業	大垣市	(4)			—	—	○
7-28		継続	中心市街地リノベーション推進事業	大垣市民間	(4)		-	—	—	○
7-29		継続	中心市街地にぎわいづくり事業	大垣市	(4)		-	○	—	—
7-30		継続	のりものフェア	大垣市地域公共交通会議	(4)		-	○	—	—
7-31		新規	市民デジタル活用研修	大垣市	(4)		-	○	—	—

7-32		継続	ふるさと大垣 観光ボランティア ガイド事業	大垣観光 協会	(4)		-	○	—	—
7-33		継続	美濃路大垣宿 本陣跡管理事 業	大垣市	(4)		-	○	—	—
7-34		継続	4館共通入館券 発行事業	大垣市	(4)		-	○	—	—
7-35		継続	中心市街地協 働型まちづく り事業	マイスタ ー倶楽部	(4)		-	○	—	—
7-36		継続	えきまえスク エアパーティ	大垣駅前 商店街振 興組合	(4)		-	○	—	—
7-37		継続	街のアーティ ストフェスタ 事業	大垣市	(4)		-	○	—	—
7-38		継続	大垣地域経済 戦略推進事業	大垣市	(4)		-	○	—	○
7-39		継続	デジタル地域 通貨「ガキペ イ」活用推進事 業	大垣市	(4)		-	○	○	—
7-40		新規	かがやき健康 ウォーキング 事業	大垣市	(4)		-	○	—	—
8-1		継続	すいすいサイ クル事業	大垣観光 協会	(4)		-	○	—	—